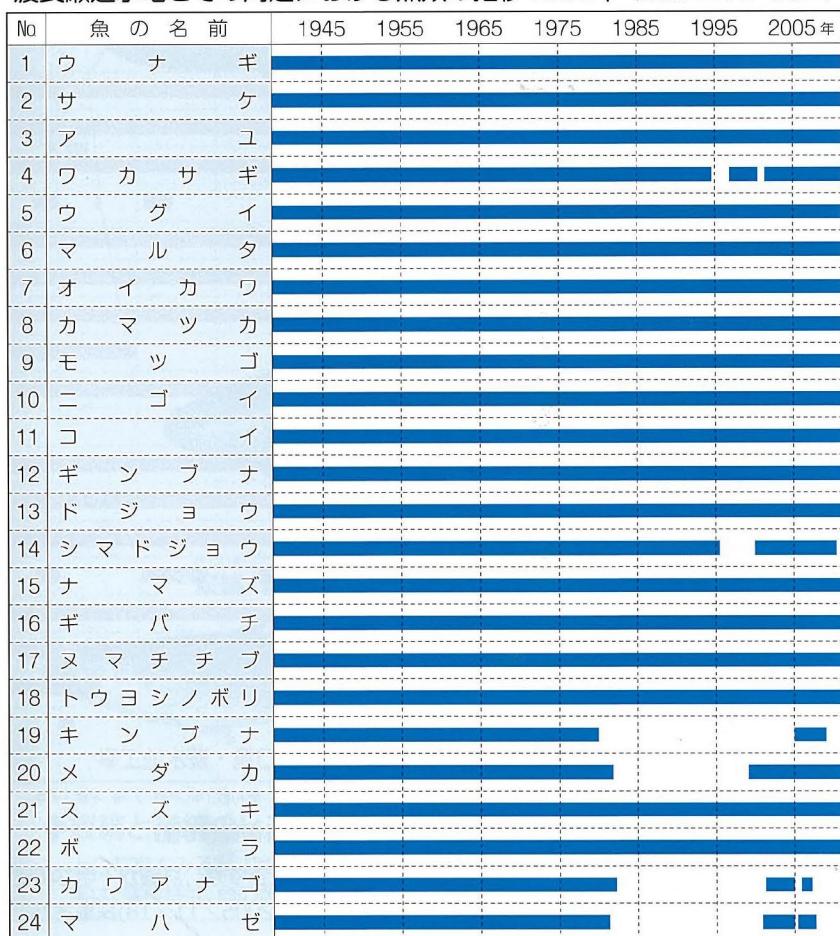


## 渡良瀬遊水地に生息する魚の変化

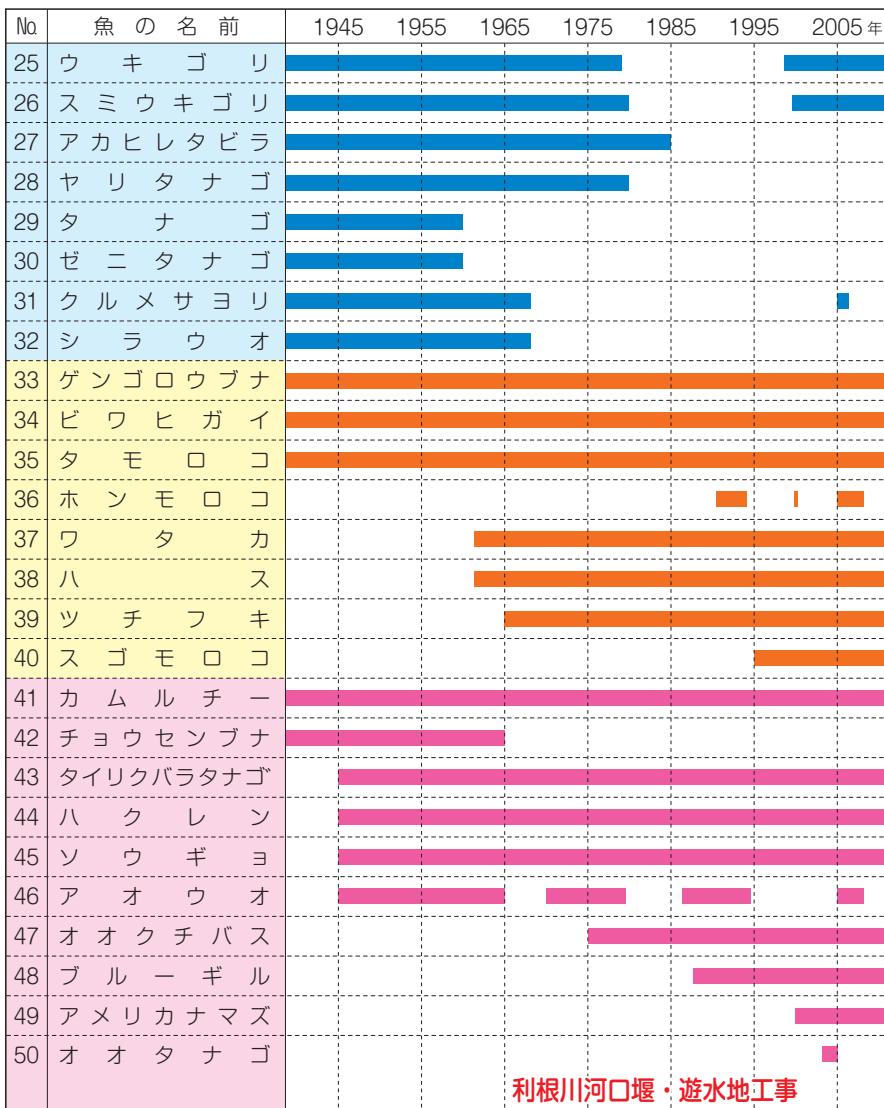
昭和40年代の渡良瀬遊水地では、クルメサヨリやシラウオ、ワカサギなどが見られたと言われます。生息する魚の変化を年代ごとに見てみると、昭和20～40年頃は在来種32種を含め41～42種生息していました。その後、外来種が増え、平成初年には合計34種、在来種は20種に減りました。そして平成17年は合計42種に増えましたが、そのうち 在来種は25種、外来種は17種でした。

渡良瀬遊水地とその周辺における魚類の推移 2009年 (関根[2006]を一部修正)



昭和20年 昭和30年 昭和40年 昭和50年 昭和60年 平成7年 平成17年

# 渡良瀬遊水地に生息する魚の変化



昭和20年 昭和30年 昭和40年 昭和50年 昭和60年 平成7年 平成17年

※ ■ 在来種(32種) ■ 移入種(国内外来種) [8種] ■ 国外外来種[10種]

※その他にジュズカケハゼやコクレン等も見られたと思われますが、詳細が不明なのでのせていません。またクルメサヨリはここ30年間で1尾(2005/11/18)採集されただけです。